

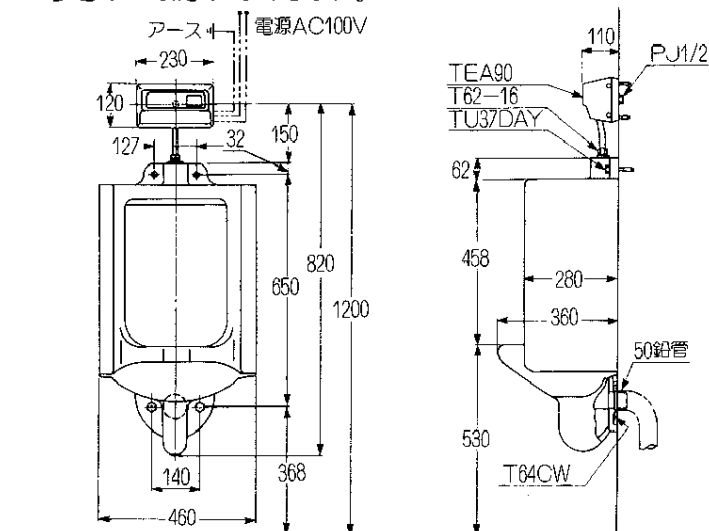
# USシステムA型 感知フラッシュバルブ取付説明書 TEA90(AC100V)

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## ■標準取付図(U370+TEA90の例)

(ご注意)陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は工事用図面を

参考の上取付けてください。



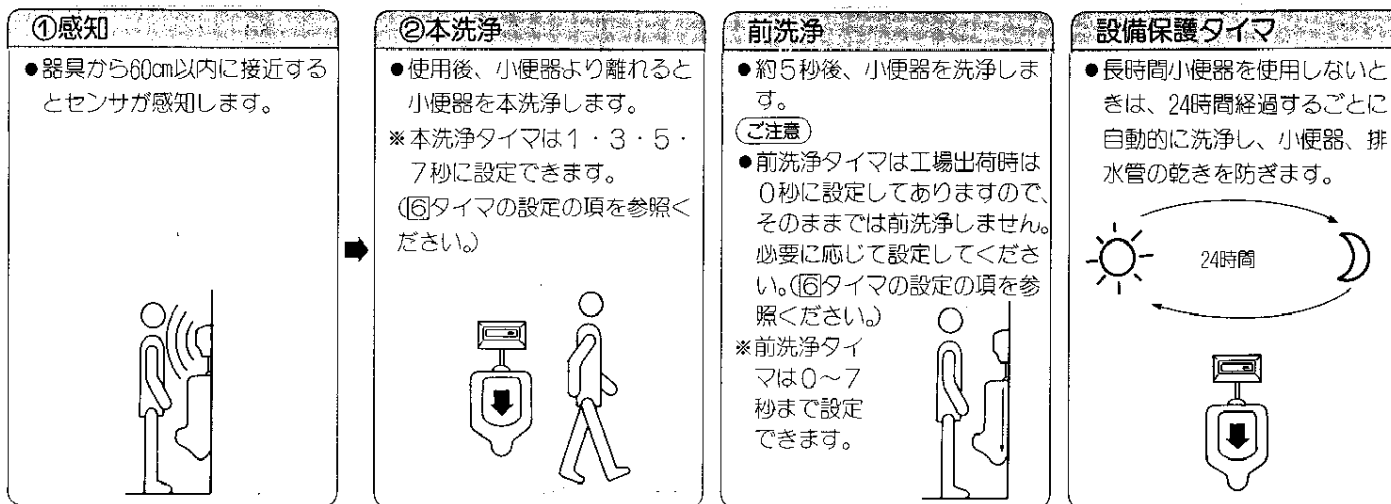
## ■仕様

項目	TEA90(AC100V)
外寸	120(縦)×230(横)×110(奥行)
電源電圧	AC100V(50・60Hz)
消費電力	常時4W・バルブ作動時10W以下
感知距離	器具前面より60cm以内
周囲温度範囲	0~40℃(水温は1~50℃)
給水部接続	15Aガスねじ
感知時間	5秒間以上(5秒以下では作動しません)
給水圧力	最低必要水圧0.7kgf/cm <sup>2</sup> ・最高水圧7.5kgf/cm <sup>2</sup>
吐水量	4ℓ/回~6ℓ/回(調節可能)

## ■梱包明細

1. カバー部..... 1個
2. 洗浄管(2タイプ).....各1個
3. AYボルト..... 4個
4. フラッシュバルブ(電磁弁付)..... 1個

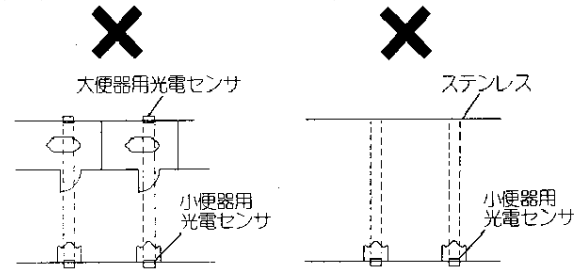
## ■作動のしくみ(このシステムは、衛生的かつ経済的に作動するよう設計されています)



## ■取付け前に

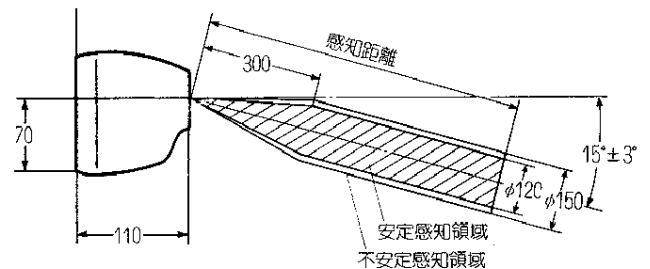
- 水道工事と電気工事は十分工程を打合わせの上行ってください。
- 万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。
- アース端子付きですので、必ず第3種接地工事を行ってください。
- 電源線、アース線は現場でご用意ください。  
使用電線：2mm<sup>2</sup>又はφ1.6mm以上の600V絶縁電線又はケーブル。
- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.7kgf/cm<sup>2</sup>、最高水圧7.5kgf/cm<sup>2</sup>です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道および異物を多く含む水には使用できません。

- センサ面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- センサの照射角度および感知距離は次図のとおりです。なお、小便器の前に手すり等を設置する場合は、光電センサの感知領域内（安定感知領域内および不安定感知領域内）に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサ正面の壁がステンレス等の反射しやすい場所への設置や、光電センサ同士（大便器自動洗浄システム用光電センサを含む）が対向するような設置は、誤動作を生じますので避けてください。



照射角度と感知領域

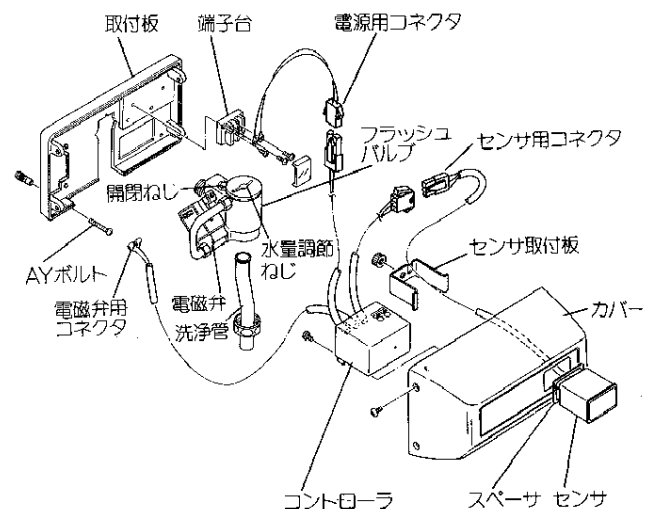
※白紙300mm×300mmの場合



感知距離700mm

(工場出荷時に設定)

## ■各部の名称

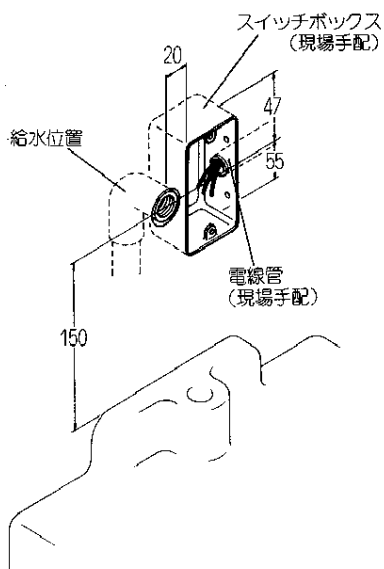


# 1 スイッチボックスの埋込み

- スイッチボックス(現場手配)を前もって埋込んでおきます。

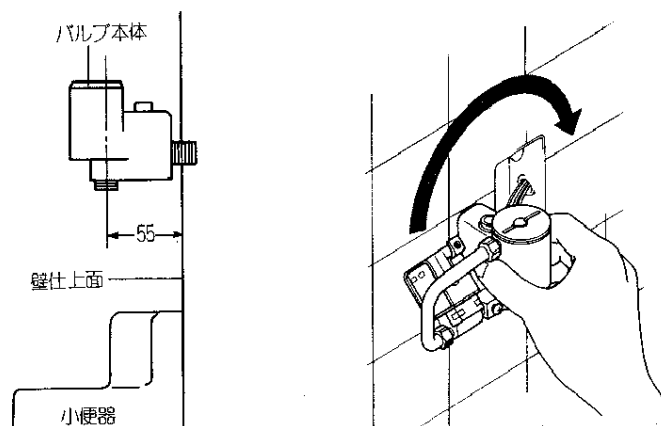
## ご注意

- スイッチボックスは、JIS C8337…1個用スイッチボックス(カバーなし)を使用してください。
- スイッチボックスが壁仕上げ面よりとび出さないように注意してください。
- 電気配線の取出しは、電気工事店様に依頼してください。



# 2 バルブ本体の取付け

- 給水管内のごみ・砂等を完全に洗い流した後、バルブ本体を図のように給水管にねじ込みます。この際、電磁弁やパイプを傷つけないように注意してください。

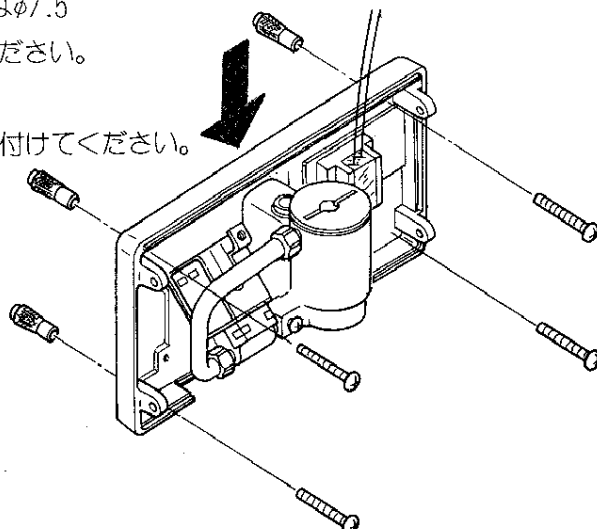


# 3 取付板の取付け

- 取付板を図のようにバルブ本体の上からスライドさせて取付けます。
- 取付板を壁にAYボルトで固定します。  
AYボルトの下穴はφ7.5  
ドリルをご使用ください。

## ご注意

- 取付板は水平に取付けてください。

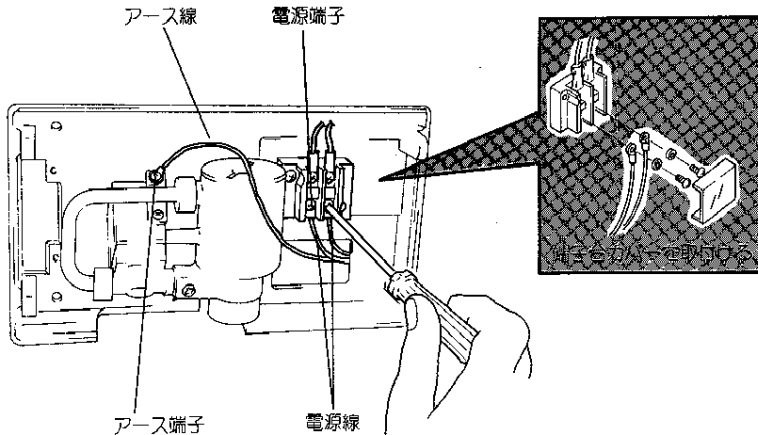


## 4 電源線・アース線の接続

- スイッチボックスから電源線、アース線を取り出し、下図のように接続します。

### ご注意

- 接続後は必ず端子台カバーをはめ込んでください。

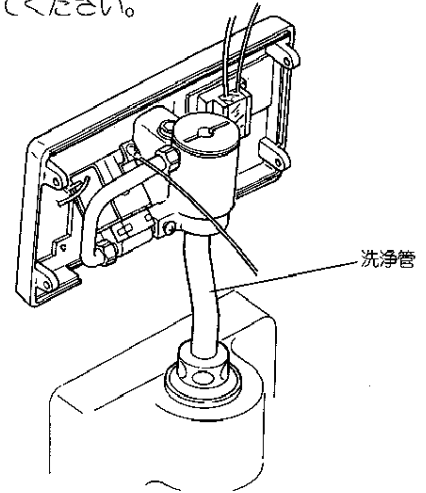


## 5 洗浄管の取付け

- 洗浄管を取付けて小便器と接続します。

### ご注意

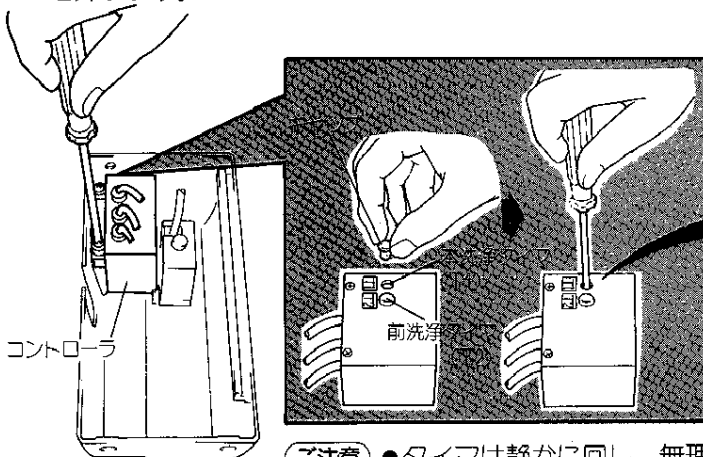
- 洗浄管は2種類同梱していますので、小便器に合わせて選択してください。



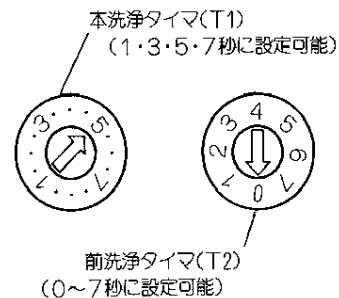
## 6 タイマの設定 (タイマは、本洗浄タイム(T1)を5秒、前洗浄タイム(T2)を0秒に工場で設定して出荷しております。必要に応じて、次の要領で設定してください。)

### 設定方法

- ① カバーに取付けてあるコントローラを外します。
- ② タイマ調節ボリュームに取付けてあるキャップを外します。
- ③ ④ドライバーでそれぞれの設定時間にタイマを調節します。



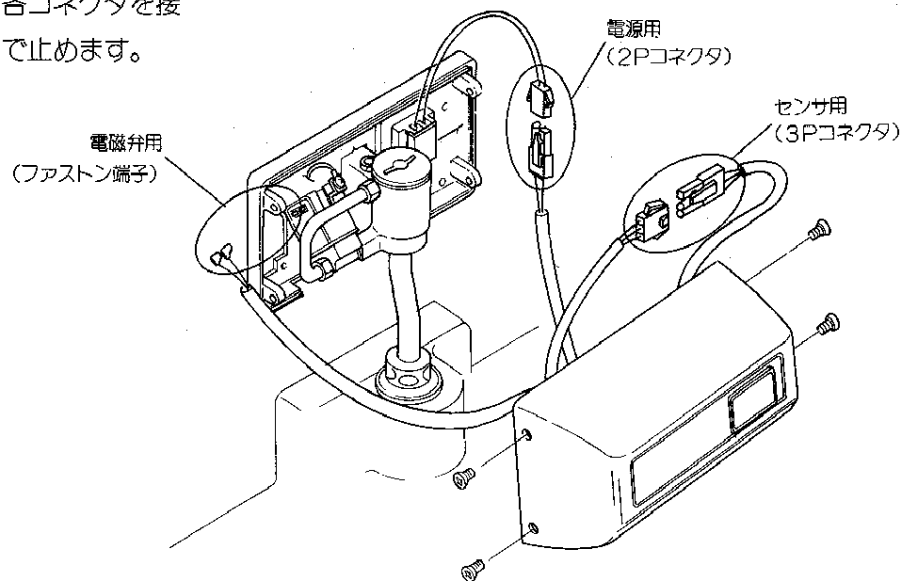
### ■ タイマ調節ボリューム部詳細



- ご注意** ● タイマは静かに回し、無理な力を加えないでください。

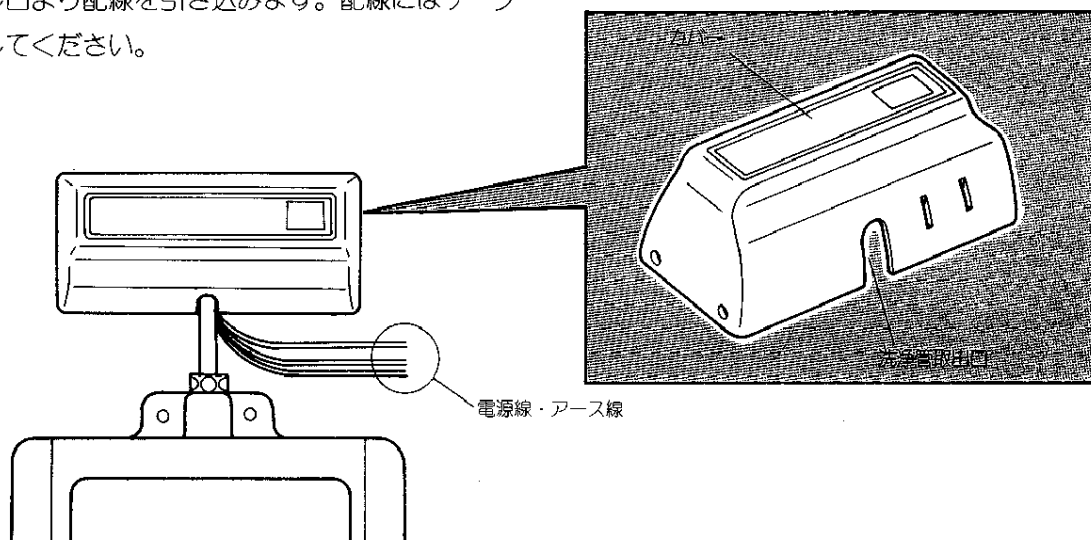
## 7 コネクタの接続・カバーの取付け

- 電源用(2Pコネクタ)・センサ用(3Pコネクタ)
  - ・電磁弁用(ファストン端子)の各コネクタを接続し、カバーを図のようにビスで止めます。



## 8 露出配線の場合

- 既設取替等で配線を露出させる場合は、カバー下面の洗浄管取出し口より配線を引き込みます。配線にはケーブルを使用してください。

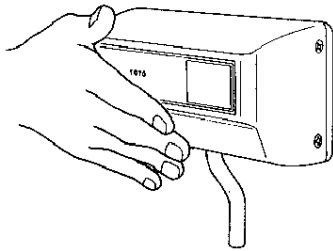


## 9 洗浄水量・水勢の調節

- センサの前を下図のように手で覆い、約10秒間以上経過後手を離すと、フラッシュバルブが作動します。最適な水勢で約10秒間洗浄するように、次の調節をしてください。

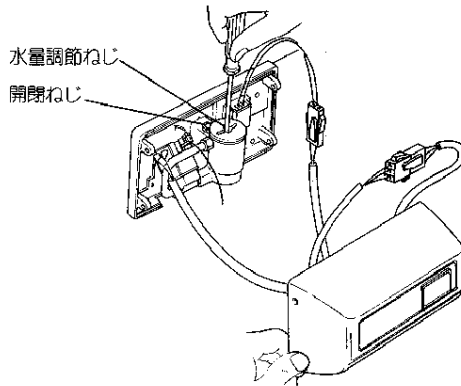
### ご注意

- 調節の際はカバーを必ず片手で保持してください。



### 調節方法

- ① カバーを外します。
- ② 水勢が強いときは開閉ねじを右に、弱いときは左に回します。
- ③ 水量が多いときは水量調節ねじを右に、少ないときは左に回します。

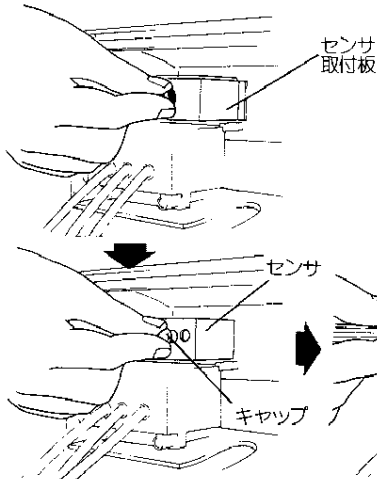


## 10 感知距離の調節

感知距離は工場で調節出荷しておりますので、通常は調節不要ですが、万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感じてしまうときは、次の要領で調節してください。

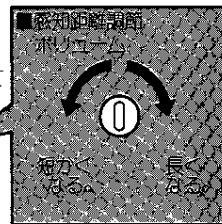
### 調節方法

- ① カバーを取外し、センサ取付板を外します。



- ② センサの感知距離調節ボリュームのキャップを外し、ドライバーで感知距離を調節します。

- 感知しない場合（感知表示ランプが点灯しない）は、感知距離調節ボリュームを右に回す。



- 感知しっぱなしの場合（感知表示ランプが消灯しない）は、感知距離調節ボリュームを左に回す。

### ご注意

- 感知距離調節ボリュームには、無理な力を加えないように少しずつ回して調節してください。
- 感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので、必要最少限度としてください。
- 調節の際は、カバーを必ず片手で保持してください。